驛遞局認可
明治二十年三月十二日刊行

毎土曜日發兌
一册正價五錢
府内無郵送税

女學雜誌

第五十五號

東京 女學雜誌社

WASON
HQ
1104
J74+

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

The Women's Magazine.

(JOGAKU ZASSHI.)

No. 55. March 12th, 1887.

第五拾五號

EDITORIAL:—Woman's Sphere.

LEADING ARTICLE:— Love, the Motive Power of Woman's Labour, by Rev. Mr. T. Matsuyama; Mr. Shimada's Address before the "Christian Woman's Temperance Union" (Concluded).

MISCELLANIES:— Women Classified; Influence of Mind of Mother on infant.

CRITICAL NOTICE:— Mrs. U. Shimoda's "Wabun Kyōka-shio" (Short Lessons in the Japanese Literature): the third Series.

BIOGRAPHIES:—Martha Washington; Mrs Eureka: No. VIII; Elithabeth; Daughter of General Ethen Allen.

CORRESPONDENCES.

GENERAL NEWS.

ADVERTISEMENTS.

●社說　婦人論

●論說　松山高吉君演說（女子百業の基本）筆記（二）○島田三郎君演說（開化に際する婦人の心得）筆記（四）

●叢話　女のしあ〳〵○姙婦と胎子との關係

●批評　下田歌子編輯和文教科書第三輯を評す

●佳傳　ワシントンの妻○ゆりか物語○エリサベス父を慕ふ事○イヽセンアルレンの愛娘

●寄書　結婚の法令を論ず附早婚の弊害を防ぐの法（上林敬次郎）乳母撰擇法（岩田文吉）若栄（鳥居忱）

●新報　三十件

●廣告

●珊瑚の玉（第廿四回）

○井澤長秀の說に雲の上はありし昔の歌は櫻町中納言重範卿の歌にて十訓抄に見へ七重八重花は咲どもの歌は賤女ならず兼明親王の歌にて後拾遺集に出づ（國學宗貝）

○女の名に子の字を付ると上代よりのとあり日本記欽明天皇記にいふ遣ニ齊海夫人句子一又云く春日日狐臣女曰ニ糠子一と見えたり女に子の字を付るとの始なるべし（貞丈雜記）

○大頭領リンコルン衞生會市の開會に臨んで演說して曰く余は稱譽の言にあられざるものあれども今謹んで申すべきとあり若し創世以來の辯者詩人等が女の事を賛美したる辭句あらバ此の辭句は皆な亞米利加の婦人の上に適すべきものあり實に此内亂中に於て婦人諸氏の大に盡力ありたるとを謝せんとせバ如此き辭句も尙ほ足らざるを覺ゆるあり

○女流の小說家中三大家あり曰くチャーロッテ、ブロント其著はジエーンアイルを以て第一とす曰くハルリエット、ビーチヨル、ストウ其著はアンクル、トムス、カビンを以て第一とす曰くマリアン、エバンス即ち通稱ジヨルヂ、エリオットと號するもの其著はアダム、ビーデを以て第一とす此他名家の女流ありと雖も盡し皆一歩を後るゝものあり

Digitized by Google

Original from CORNELL UNIVERSITY

女學雜誌第五拾五號

明治二十年三月十二日

●社説

○婦人論

婦人にして身に戰衣を着手に劍戟を提げて三軍を叱咤し武名を轟かせしものは異國本朝ともに其例に乏しからずジョンデアークの佛蘭西に於ける巴、板額の日本に於けるが若き此れなり又自ら政事堂に出で丶國家の大事を料理し百官有司を統御黜陟して經倫の才を著明ならしめたるもの漢の呂后英のエリサベツの如き人無きに非ず世漸く進歩して此の第十九世紀の世界となりては女子の勢力稍ゝ高く西洋諸國に於て殆んど男子を壓倒し去るの狀態あり甚だしきは婦人をして國會の議員となし政府の吏員たらしめんことを圖り會を結び黨を樹て丶此の目的を成就せんとするものあり婦人をして是の如くならしむるの利害に附き說を爲すものは今日の日本國にとりて甚だ必要なる問題に非る也。已に人類にして此の美妙なる天地の間に生れたる以上は婦人が學理を研究し日月の大なるより草木の微に至るまで其幽を闡き玄を探る豈に之れを不可とせんや況んや歐米にありては女子の身を以て名を學者の間に顯はし著述の書廣く天下に行はるゝもの少なからずブラウニングの詩は精神句調ともに高傑深遠にして大人君子を感泣せしめジョルジ、エリオットの稗史小册は人情の淵源に通じ喜怒哀樂の由來を明らかにし動靜云爲の順序を示し思想感覺の理を敎ふ誠に一部の心理哲學を讀むが如し又米國にはハリエット、ビーチョル、ストウと云へる才女あり曾てアンクル、トムス、カビンと稱する一小說を作りて彼の家鄕の天を離れ外國に賣られて奴隸となりたる黑人が鞭撻苦使の下に苦しむ酷薄無殘なる狀態を細かに寫し出せり之れを讀むもの坐ろに酸鼻して黑奴の不幸を憫れみ白人の處置を憤るに至れり後年に及び南北和敗れて大亂を起すことゝなれるもストウ女史の一枝の筆之に與かりて大いに力ありしと云ふ英國にフォーセイなる女豪あり深く經濟の學に通じ識見非凡にして盲目なる良人を助けて大名を成すことを得せしめたり是の如き例を東西に蒐むれば蓋し枚擧に遑あるべからず伸す可き才を有するものい其男たり女たるを問はず十分に己れの天資を發達せしめて可なり天の人を生じ之れに種々の才能を施こす決して偶然に非ざるべし吾人は或人々が婦人を驅りて學問文藝の外に追ひ放たんとするを喜ばざるなり女子の學を修め文章を作り詩歌

を詠じ道理を講論するは其の自由に任ずべし否な其の自由に任ずべきのみならずこれを鼓舞奬勵して學問筆硯の中にも婦人の遊ぶべく働くべき別天地なることを知らしめざる可らず然れども女子をして徒らに是の如きものをのみ求めしむるは甚だ不可なることあり天下の業政事家のみ貴きに非ず學者又甚だ貴しとす唯だ學者のみ獨り貴きに非ず農商工亦實に尊むべき事業に非ずや殊に女子の如き宜しく自らを愼みて時流に從ひ浮きたる名譽に誘はれず婦人通常の務ある家庭の事業實に貴きものなるを忘るべからず内閣に列して法を制し鞍馬に跨りて兵を陣頭に指揮するは婦人の望む可きに非るべし天地の眞理を究め稀代の著述をなして世人の頭惱心情を支配するは或る婦人の能せざる處恐らくは其の多數には不適當なる所あらん然れども婦人は家庭に在りて其の善良なる敎育を以て大政治家をも造り勇將をも養ひ博士をも生ずることを得可し自ら孟子七篇を作らずといへどもこれを作れる人物を養成したるものは誰ぞ三遷の苦を厭はざる孟母に非ずや生れて未だ東西を辨ぜず生死の間殆んど一髮を容れざる小兒の肉躰を看守し其習慣に注意して强壯善良の人類とならしむ其事の尊貴ある實に言難き程なるべしクリミヤの戰塲に赴き彈丸の中に計畧を定め壘を拔き將を斫りて大功を建てたる勇士は名譽なきにはあらねど博愛の情胸に溢れ任俠の氣盛んにして遠く異鄕に流離ひ危險艱難の中に同志を勵まし手負の兵卒を看護し其創痍を癒やし其望鄕の懷を慰さめ重傷に苦しみ死に垂なんたる壯夫の淚を拭ひ天國の望を堅固ならしめたる義女フローレンス、ナイティンゲールの譽れは道德の譽れなり芳名必らず千萬年の後に傳はるならん良人學說を苦思し獨坐沈吟して殆んど失望落膽せんとす傍らに侍して其の苦心を憐れみ其精神を慰めて復た新鮮なる意氣を恢復せしむる其事美にして愛すべし吾人爲めに感泣せざるを得ず噫女子よ文藝學術は固より善良なる事業なり然れども德を以て暴に勝ち柔を以て剛を利し靜和の氣を以て丈夫の精神を平かにし人の淚を拭ひ世の苦しみを救ふは汝の固有なる本務なり救世主の足に香油を流し庖廚に馳走して仁人世の爲めにする患難を慰せんとする是れマリア、マルタ二女の名を後世に知られたる所以に非ずや遥かに十字架の下に立ち紅淚を以て義人の死を送りたる數人の女は是れ我輩の慈母我輩の賢妻又我輩の愛女に於て學ぶべきの模範なりとす才名世に鳴り識見高きの譽れ遠く聞へ著書洛陽の紙價を貴からしむるも此の女子固有の美を欠く時は皆な

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

糞土に等しきのみ故に假令我諸の人の言及び天の使の言を語るとも若し愛なくバ鳴る銅や響く鈸の如し又すべての奥儀と諸ての學術に達し山を移す程ある力ありとも愛なくバ數ふるに足らぬものなり

●論説

○東京婦人矯風會大會演説録

松山高吉君演説(婦人百業の基本)筆記　(一)

古へ仁徳帝がまだ位に就き給はず難波の宮に籠り在して菟道稚郎子皇子と互に王位を譲り合ひ三年に及びしとき王仁と申す博士が「難波津に咲やこの花冬ごもり今は春べと咲やこの花」といふ歌を詠て奉りましたが、之は今の我が日本の婦人方に當れる歌であらうと思ひます。　我が邦は千有餘年來佛教儒敎主義の積雪のために蔽はれて婦人方の持前なる美はしき色をも得ならぬ香をも充分にあらはすことの出來ない狀況でありました、然るに今や歐米文明の春風の爲に殊に基督教の温かなる和風のために積りに積りたる深雪もやゝに消え蓓蕾紅をあらはし香を放つの好時期がきました。是實に婦人方の愉快と幸福と計りではありませぬ、之に離る可らざる關係をもつ男子に取ても亦愉快と幸福とを得ることで御坐ります。然ど凡そ世上のこと政治にまれ宗教にまれ又道德にまれ商工等のことにまれ事物の變りゆく新陳代謝の時ほど危なひものはなく亦この時ほど大切なものは御坐ません。時候に於ても夏秋の交に發病多きものあるが其豫防をして衆人に安寧を予ふるは衛生家の力であります。斯の如く婦人方に於ても今は思想に行事に悉皆變りゆきて更に新天新地を開んとする時なれば誠に大切な時で危ないことも亦澤山御坐ましよう。其危ない事を危なからず誤らしめず禍に陷らしめず眞實の幸福を今日の社會及び將來の社會に與ふるは婦人有志方の力によらなければなりません。この矯風會は即ちこの責に當るものであらうと思ひます。斯る時に際し往々人の誤りに陷り禍に罹るは兎角新奇をのみ喜び漫に時好に走りそればかりに汲々として反て實利實益を忘るゝが故であります。又取捨その宜きを得ず時と所とに叶はする活用の道を誤るが故であります。たとひ道理に合ひたる事益すべきことにても用心あしけれバ害になる事があります。熊澤了介が時所位といふことを申しましたが實に之は大切なことで今日西洋の新事物を持込むにも此三つに應用さすることが肝用とぞんじます。　時と所と

位とを考へねばならぬことゝ男女の交際の一事に就ても知らるゝことにて、東西地を異にすると文明の度を同うせざるとにより男女の間がらにも甚しき相違がありまして、歐米にてハ東洋人の目にハ奇と思るゝ程に婦女は尊敬せられ婦人も亦殊の外自らを重ずるの風なれど我邦にては婦人を尊敬するとなく婦人も亦自らを重ずる心が御坐ません、それ故に歐米の如く男女の交際ハ親密にしたきハ山々にて實際に就ていふも社會は男女相愛し相助てゆかねバ幸福もいでず快樂もいでず一日も早く男女の間の垣は取除かねバなりませんなれど如何にせん東西風を異にすれば外面のみの相愛相交を取用ゐて男敬し女重ずるの風儀を養はざれば其危險論なきとと思ます。然ど外面の事は寫し易く内部に屬するとは先祖よりの遺傳固着中々容易に移りがたきには困ます。然ば婦人有志がたは個樣なる點に深く御注意下され度もので御坐ます。若輕躁に一を取て之に連添一をとらずば道理にも合ひ實際にも益すべきことがトンダ弊害を來らせ反て文明の進路を妨ぐることゝあります。

學問のことに就て亦申して見ましよう。近來婦女の敎育といふことが盛んで御坐ますが敎育といへば學問のみのやうに思ひ、學問といへば書物讀むことばかりのやうに心得て、婦人の位置を高くし歐米婦人の如くならしむるは一に只書物讀の力によるとと思ひがめる傾きあるやうに見受ますが、是も亦その一を取て他を顧みざる誤の一分部と思ひます。西洋の婦人に私は年來親しく交際て見まするに其品位の高きは決して學問ばかりでは御坐ません。人情にも通じ社會の事にも明にして何も彼もよく行屆き實際に迂ならず、文字の他に學問をなして敎育が平均に上達してをります。故に一家の事より社會の事に至まで歐米婦人の手柄は著るく、自他の福利を増進するとも隱れなければ其位置の高くして尊きも宜なるとぞんじます。只書物を讀みて高尚なる論をとなふるばかりを以て西洋婦人に向はゞ歩を讓らざる者も多からんと思ます。讀書上の敎育は中々行屆た婦女が隨分少くない。英書にも通じ和漢の書にも涉り頗る高尚なる考を腦にも蓄へ口にも吐き、昔の紫式部や清少納言も頭をかゝへて逃出さうに思はるゝ婦女を往ゝ見受ます然どこの女博士が西洋婦人とならぶと何かしらぬが慈母の側へ小女がよりたる樣で御坐ます。之は他のわけではなし、讀書の一方のみ發達して他の部分が一向發達せざるが故であり升。學問は誠に大切であつて決て忽せにすべ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

きとには有ませんなれど學問で人間に疎くなりては不都合千万で御座ます。學問で社會を利し自他を益する樣せなければ其學問は貴くなく其人も尊敬はせられまいと存じます。全躰東洋は思想に富んだ所であります。印度の如きは歐羅巴と雖ども及ばぬ程に哲學上高妙なる理屈が多くあります。支那のごときも昔しから斜曲ながらにも議論が達者で御座ますが實際には疎きこと甚だしい。我が國もこの癖が脫られぬやうに思はれます。凡て物事は平均といふことが大切であります。讀書上の思想ばかりで他の實際上のことが不充分では頭のみ大くして手足の細小なる福助とやらいふ廢人の類であります。廢人では社會に用立ませぬ。斯樣なものが多くあると國は存ません。印度の憐れなる有樣に陷りしも支那の頑然として振はざりしも此譯でありましよう。折角學校にて永の年月螢雪の勞をとりし女生徒方が嫁づきて其功勞もあらはれず一家には和合の樂を失ひ外には誹謗の聲かまびすしき等のことを聞きくとあるも亦この廢人のわけにはあらぬかと竊かに心配いたします。凡て不平均は實用に適せぬのみならず甚だ見苦う御座ます。御存じの如く希臘は古時美術よ名高いところでありますが其名工の彫刻や畫圖を觀ますに頭胴手足みな平均を得てをらぬは御座ません。然ば婦人方の學問もこの理に違はぬことで只書物よむとばかりでなく家政のこと育兒のこと交際のこと何くれとなく行届くやうに平均の敎育が大切とぞんじます。みな能平均に發達して始めて社會にも崇めらるゝ尊貴位置を婦人がたが得たまふで御座ましよう(未完)

○島田三郎君演說(開化に際する婦人の心得)筆記(四)

私が今日アナタ方に望む主意は歐羅巴に文明が起りそれ〳〵精神を費して種々の發明もあり世を益することも多く今日に至て歐羅巴の人が立派な衣服を着るも詰りは蒸氣の發明や鐵道の發明の致す所であります、歐羅巴は此の如く富に奢り文明に誇るは必竟一般平等の上に力を盡したるなれば其出來榮も能く文明の光も現はれたが東洋の文明は歐羅巴の文明に較れば一段劣りし者にて歐羅巴の文明は尊むべきであります。併しながら歐羅巴の文明の日本へ這入たは多く上の手を經て這入た者だから。前に申した通り天竺に起た佛敎は本と平等に起て支那に入り日本に入て終に榮曜の者となつたのであると故歐羅巴の文明が日本に入るにしても能く心を其所に注がなければならん、枯木に花咲くは通り花の終りと考へる。左すれば何したら宜かなれば上下から文明の這入は忌べきでもない

が下より起す歐羅巴流儀の文明に致したいです。一般平等なる文明が起らんでは日本の有樣を歐羅巴の雛形に引直し立派な國と爲とは難ひ、思も寄ぬ。金銀珠玉を頭に附る貴族流儀の文明では何時目的を達するとが出來るか計り難い、一方は高い形ちを現し一方は非常に低い形を現はす樣になりませう。今男の洋服は立派でなければならぬとすれば商人の仕事にも亦奔走にも洋服が便利なり郵便電信の配達夫學校の小使迄も洋服を着るが立派と云ふとは出來ますまい。我も〳〵と立派を競へば其結果を現はすとは到底望むべからず女の風俗も立派でなければならぬと言ふ過ちがあれば金のある人より外文明を得られない、十人中の一人よりは出來ない。なれども風俗は決して左樣の者ではない、學校へ行けば腰を掛なければならんから洋服を着る、左すれば便利である、歩行にも宜しくあれば女も同樣であるからと、平等主義を以て社會を引直し歐羅巴文明の風俗に引入るやう奮てアナタ方に盡力あらんとを望むのであります。十五六年前の書生の有樣と今日の書生の有樣を較るに餘程其間に笑ふべきとがあります、例へば酒を飲む書生は飲ぬ書生よりも多い、併し無論酒を飲は宜くないと知て居る、然るに十五六年前の書生の有樣は十人集れば其中誰か私は酒は飲ぬと云ば酒を飲人に壓せられて遂に酒を好ぬ人も勉强して飲む樣であつた。今でも開けない所は此風俗が盛んであります。然れども今日では酒を飲む人が擯斥せらるゝ有樣に變じたる如くであります。今私の望む所の歐羅巴風に引直んとするも人數の少い内は之を實行することは出來難い、何なれば女が洋服を着れば擯斥さるゝ、立派なるのでなければ着られない、改められないとすれば、六ケ敷のです。若之に反して多數の人が未來の變化を計り風俗を改ると力を盡せば少しも可笑ない。丁度昔し酒を飲ない人が壓せられ今は酒を飲む人が壓せらるゝと同じき變化になるのです。昔しは漢學が盛で横文字を讀む人は或は惡まれ或は笑はれました今は之に反して男も女も子供迄も誰れでも横文字を讀まんでは通用が惡ひやうになつた。之多勢の人が是でなければならんと感附たので多勢の人が横文字を讀むは惡いと言た反對の結果が現はれたのです。是と同じく歐羅巴の風習をして許多の人に斷然行はせんとするは六ケ敷が、人が笑へば笑へと奮發する人が出來、多數の考が玆に向へは容易く行ことが出來る、故に私は箇樣なる考の一般に及ぶを目的として多勢の人を歐羅巴の風習に向けて改良することを勸めなければならぬことゝ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

思ふ。何しても洋服はマンテールが立派でなければならぬと云ば學校の小使や郵便の配達等も亦不便になるに違ない、女も矢張如斯である。昔しの如く女は臺所のとさへすれば宜と云ふ丶今の平等主義から申せば決して左樣なる道理はない、併しながら戰爭に出るのは女では不都合ですけれども、玆に女に適當なる職業がある、其一部分たる衣服裁縫のと抔は男の遠く及ばぬ所で、女に適合した職分で世の中を大に益する職と思ふ。女の身躰は天賦の性により之に適するとて歐羅巴でも針仕事は女が遣りますが、國を防ぐ兵隊には女は採用しない、是は男の長所です。衣服の改良を計らんとするには之を下に及すは六ケ敷が下より起す文明に引直すは榮曜を省き自ら變化を起し女に適當した職業を執り世の多數なる者が此心を起しさへすれば遂には爲し遂る者にて、自ら任じて其費用を省く志さへあれば行はれぬと云ふことはない、即ち世を益することが出來る。今日の世に當て此改良に任ずるは女子諸君の一事業と存じます否之を專門の職分と云ふのではない女の最も必要なる職業と考へるのです。日本の未來は必らず歐羅巴の風習が起ると確に信じます、現に世の變化は既に今迄とは餘程の變化が現はれて居るから、未來は愈々變化し來るべしと思ふ。然れば今より社會に善良の主義を行ひ、後來子孫の爲に明治文明の風習に盡力して一事業を世人に認めしむることを望むのです。聊か私が考をお噺し申してアナタ方の御參考までに一應御相談に及びます(完了)

●叢話

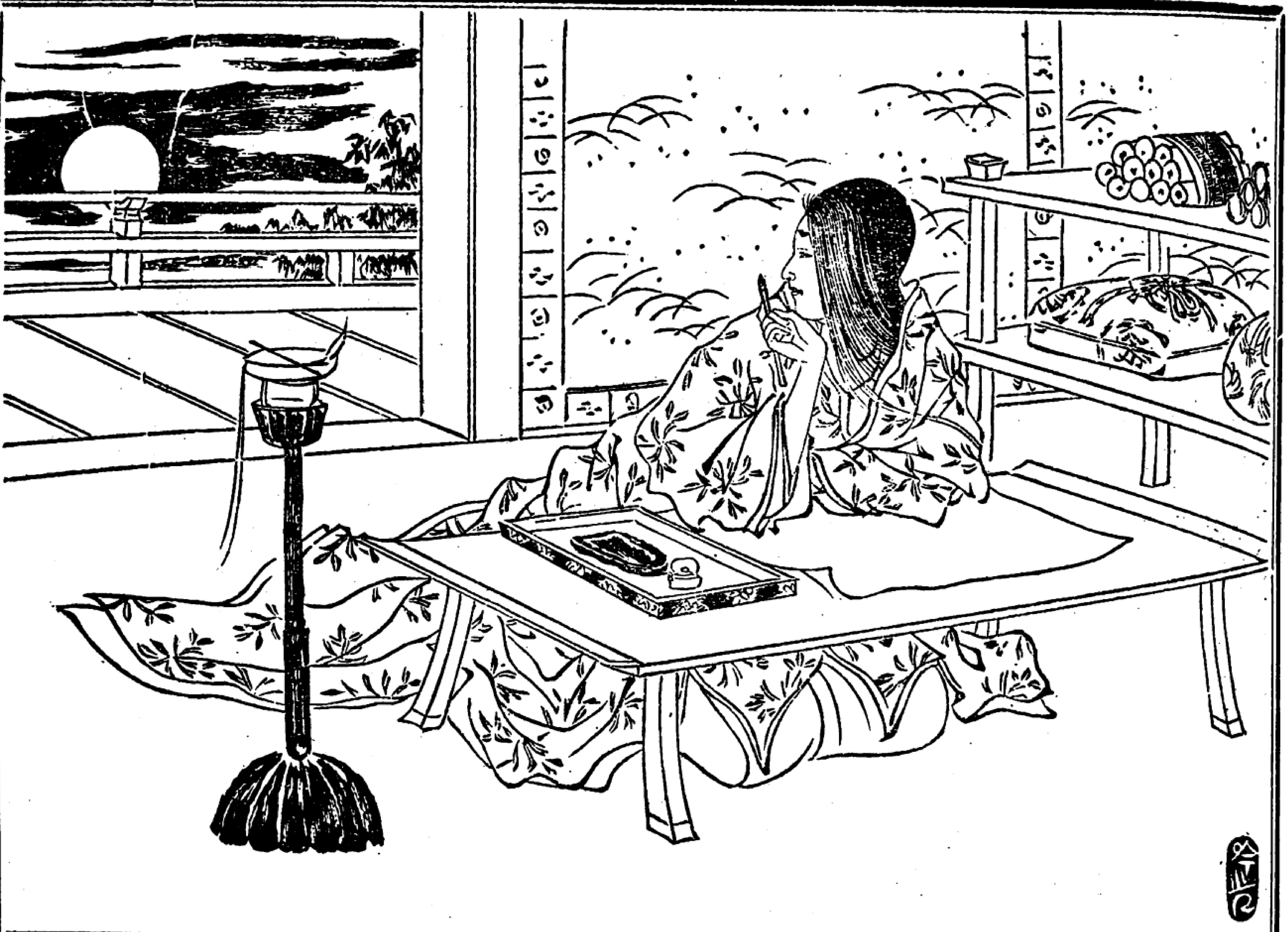
○女のまなび（上）

左馬頭云へるやう若やかにして形よき女あり身を潔白にもてなして塵もつかせじと遇しらい文をかけバ最と大やうにして仇めきたる樣も見せざるが又詞を撰みて墨つきをほのめかし讀む人に心もとなう思ハせたり左らバとて姿を見んとすればすべなく待たせ聲きく斗りに近づけば息の下に引いれて言葉もなし斯るは夢心して近づく可らず其樣最としなやかに女らしく見ゆるとも眞に親しみたらん後は實はあだ〳〵しき浮たる心を最とよく秘くしたるものとは知らるゝなり。又之とハ反はりて取なし老實〳〵しく髮もとゝのへで終始家の內の事に心くバる女あり夫はおほやけ私の事もろともに繁くて善きあしき事の目にも耳にも留まる多けれバ近かしき妻にものがたりて笑も淚も諸共にこそと思ふべし然れど斯る俗々しき妻

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

に何かは聞かせんとうち反きて獨り物案ずれば何事ぞなどあは〳〵しく問かくるぞ何如に心惜しからむ。然らば只やはらかなる人を選みて之を己が望むまゝに敎へ導きて引きつくろひたらんぞ此上なく宜しかるべし但だ悲しきは實にさしむかひて見ん內は斯て心にも適ひ罪も許し見るべきを立ち離れては言ひ遣るとも得悟らで至りなき咎の多くあるに口惜くも亦心ぐるしき限りなり。今はたゞ品にもよらじ形をばさらにも言はじ最と口惜しく佞じけがましき覺だになくば只ひとへに物まめやかに靜かなる心の人をぞ終の頼み所とは思ひをくべかりける其上にも尙ほ品よく心ばへ宜からんには少し後れたらんとあるとも强ちに難とはすまじ若し尙ほ心淸く誠正しく後ろやすくのどけき所だに强くばうはべのなさけ外の風流は自らもてつくべし。かの艶に物はちして怨いふべきことをも見知らぬさまに忍びて上はつれなくみさほつくり心一つに思ひあまるときは謂はん方なく凄ごき言の葉哀れなる歌をよみ置き忍ばるべき形見をとゞめて深き山里世ばなれたる海面などにはひかくれぬるもあり童の時之をきけば最と哀にかなしく心深きと哉と淚をさへなん落としつるが今思ふに最と輕々しく特更に作り出でたる行とは覺ゆ必竟は人をまどはし男の心を見んとする程に永き世の物思ひとなるあぢきなき女なり。之よりも更に拙きは心深しなど人のほむるに乘じてやがて尼ともなり思立つほどは最と心澄めるやうにて再び還俗すべき樣を見せず然れど相知れる人など訪ひ來りて殿の御心はあはれなりけるものをあたら御身をなど云ふに彼の御方に尙ほかゝる誠のありてかと悟れば額髮かきさぐりても尙ほあへなく心ぼそく一度び淚のこぼれ初めては早や忍びがたき歎ぞ多かるべし斯る女は佛も中〳〵に心ぎたなしとこそ見玉ふべし。然れど又男のなをざりにうつろふを怨みて事々に氣色ばみ反かんも愚しゝ素と愛ありて親しみたる交とあらば折々の薄きもてなしあらんとも復た元の如くあらずやは。然ればすべての事穏にして怨ずべき事をも見知らぬ樣にほのめかし恨むべからんよしをも惡からず諫めなば夫につけて哀もまさりぬべし斯る女ぞかの無下にうちゆるべ見離ちたる又は事々にかしましう怨ずるにはまさるべし。然れど彼の木匠、畵かき、文かきなど如何に面白う得つくるとも實あるにあらでは見るべからず況して人の心の時にあたりて氣色ばみ實なからんは得待むまじまことに姿よく目を迷はすとも心に眞實のなからん女は吾々の心がくべきものならんや」とはかの紫式部が石山寺

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY



紫式部筆蹟

清浄若一切智智
清浄无二无二分无
別无
智清浄何以故若
集聖諦清浄若恒
住捨性

の月さやけき下に心にうつり出づるさまぐ\の世の女を評したる言葉になんある

○妊婦と胎子との關係

既に身持となりたる妊婦ハよく〳〵万事に心掛ざれバ胎子の上に善悪とも甚しき關係を及ぼすとなり紐育の教授ハムモンド氏が實驗したりと云ふ事の談話に某婦人三月目となりし頃或日其夫が他所にて何かの爭ひして顔に大なる傷をうけ血塗れとなりて歸りたるを見て甚しく驚愕し一時は氣絶したるが漸く心付ても尚ほ夫の顔の目前に見られて恐を消すとあたハず斯てはお腹の子に何事かなかるまじきやなど更に心配したり然るに時滿ちて玉の如き女子生れたるに不思儀なるはかの夫の顔に血の多くつき居たりと覺へたると同じ程の邊に濃赤色の斑點ありたりとなり。又有名の學者ダルトンの物語には紐育醫學校の門番某の妻ハ身持にてある比ろ一夜耳の欠けたる男に出て會へる由を夢みて非常に心中に感動し翌る朝夫に談して何事もなかれかしなど氣遣ひたるとなりしが其子生るゝに至りては亦た一つの耳滿足の形にてあらざりしとなり斯る實例數多ありて學者輩の議論も既に確定せり妊婦の心次第にて其子の躰の上にまで斯る影響を及ぼすとなれバ況して其思の如何によりて子供の性質をよくも悪くもするは甚だ明白の事ならん故に母親の賢良なるは其子も亦た賢良なりこれたゞ此母の教育の宜しき耳の故にあらず腹中に妊娠する間に於て既に其の賢良の性質を傳へたるが爲なり然れバ凡そ善き子を産まんと思ふ者ハ妊娠中成べく思を平にし心を靜めて尚ほ時々は聖賢の書物善良の談話などを閲見し所云る胎教と申す胎内にて早く其子を教ゆるの工夫を為すと甚だ大切なり

○批評（第十九回）

(21). 和文教科書　第三帙（第五卷廿一葉第六卷六十五葉）定價五十錢　發兌所東京神田猿樂町三丁目　中央堂

此書は下田歌子が編輯ありたるものにて前二帙につぎ第五第六の兩卷を併せて第三帙として今度出版さる第五卷は鴨長明の方丈記第六卷は菅原孝標が女の更科日記を其儘に編まれたれど所々に意見を加へて訂正增補ありたる廉少からず特にはべる、それ、すむ、などの誤を正されたる所及びみにしめての解その外折々の脱文につきての考は甚だ新しく覺へて讀む人の助となると少からず當今和文を學ぶに適當の教科書なき折柄本集の如きはよく之に當るものとして可なり

I have oft-times noted, when women receive the doctrine of the Gospel, they are far more fervent in faith, they hold to it more stiff and fast than men do; As we see in the loving Magdalen, who was more hearty and bold than Peter.

Luther.

●佳傳

○ワシントンの妻

合衆國最初の大統領ジヨルヂ、ワシントンの妻をマルタ夫人と云ふ伉儷の交いと深くワシントンが米軍に將として先づボストンへ赴かるゝ此れ之に隨ひて戰場に臨み其後も多くは之に伴ひたり能く夫を助けて且つ家事を調理し信仰あつくして誠實ふかゝりければワシントンは何事につけても之に諮ひ計りて内外の事を共にしたり其相離るゝ間は絶へず音信れて眞心を通じたるが夫人卒去の前日悉く其書を燒き棄てたれバ世よ殘りて双の愛を示すべき便わらず然れどたゞ一づ或所に貯へたるものによりて之を見るに英雄の夫妻相信ずるの和樂は明に知らるゝあり

余が尤も親愛する君よ　只今言語に述べがたき程に苦慮致居候事件を申上るに付ては之によりて亦た君を脳ますべきやと存候へば尚更心苦しく被思候其は余の儀にては無之此度議會にて米國防禦の爲に募集したる總軍指揮の權を余に委任し迅速ボストンへ向け進行す可やう議決致候事あり。親愛するパッチーよ余は啻に君及び家族と別るゝとを好まざるの故のみにあらず尚ほ余が才能の此任に適せざるとを悟るが故に此委任を勉めて謝絶したる事及び余が外行の年月もし七年に七倍する程の長日にてあらんには此榮任を棄つるも寧ろ君と一ヶ月同居するの幸を希望いたし候事を謹んで申上候へバ君は必ず余の心中を察して此等の言葉を信認わらるゝとと存候然るに此委任は恰も天の命あれバ余は之を受けて良結果を奏し得べしとも存居候也。然れバ余は從來一身を保護して且つ一身を惠み玉ひたる天命に委任して此秋には安全にして歸宅し得べしと信じ居候余は戰陣の艱苦危難を厭ひ不申只だ君が家に獨居さるゝの物憂きを思ふて歎息に不堪のみ何卒十分御氣丈にて成るべく樂く御暮の樣祈候余は君が此樂を受け玉ふとをきくより外に滿足の思無之尚ほ其事を君が自筆によりて承知するより外に喜悦の念無御座候云々

斯てワシントンは人の生命の果敢なければとて此時遺書を認めつかはし其財産を自由に支配すべき權を悉く夫人の手に委任したるとぞかゝる英雄には亦た温柔鎔くる如きの愛あり伉儷如斯んバ如何よか樂しからん東洋從來の弊風として豪傑は兎角に優和の心情あきものとあす之れ大なる誤にして必竟は夫婦間の清潔ある信愛を知らざるものゝ暴言あり

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

○ゆりか物語　（八）

ゆりかは温太に出で會ひて先づ無言の儘立禮したるがせきあゑぬ涙を飲みて漸う聲を搾り出し静かに其恙なかりしを祝して之を喜ぶがうちにも何となう心置して頭を垂れ談話數度び途切れて双方ともに默するとあり温太は遂に壓切て泥舟君は御恙なきやと問ふ之よりしてゆりかの面にわかに熱を増してヂト見つめ居たるが禁めかねたる涙二つ三つをはらくと落してさて何やらん連りに物語りけり泥舟は別室に居て先程の新聞の讀殘したるを眺め乍ら一句も心に落居ずツト立上りて室内をあちこちへと歩みつゝ客間の摸樣に掛念したり心付て偶と庭面を望み後ち漸く首を垂れまた新聞紙を讀みかけたるが連りに心定らざる風にて復た歩みまわりける

温太ゆりかは三十分が程相ひ語らひたるが後には雙方ともに決心の摸樣に見へて聲音も自ら高く談話も亦快げにて

ソレジヤアー之から眞に兄弟と為つて共々に先生の御志を盡しませう

一層今日泥舟に御あひ下されませぬか

左樣泥舟君が僕等を信じ玉ふ如く僕と雖も固より疑ふ所なしドウゾ只今茲で

之より泥舟ハ出で來りて温太に面會し前年故ありて共に不快に感じ合ひたる事柄は今の眞心を悟りかハして忽然消散し昔し同窓に相くつろぎたる親しみの變ハりなけれバゆりかは初て口の邊に笑を含みて最と樂しげなり蓋し之れ切ての心なぐさめなるべし

其夜は奥座敷の障子を悉くとらせて机二脚を椽側近う持ちより泥舟はゆりかと相對して間ハひに昔し風の行燈を立て暫時小冊を讀みたるのち諸共に庭前の月をながむ此夜はゆりかの心中に多少の安ずる所あり生來夫が世をかくれて只だ閑室に讀書著作するとの好ましからず覺へたるが此時初てかゝる生活の甚だ樂しみあるとを悟り得たるぞ不思儀なり月は大空に清めども光松の枝に近うして樹陰あり石燈籠の形人の樣すれども虫は鳴きもせず蝍々たり夫は餘念もなう彼方を眺めてあれバ優郎は無心にて扇子を弄ぶ吾ながら雅致ある住居よと思ひつけバ即ちすでに閑居の甚ハだ樂しきとを覺り居たるなりけり

斯て後に温太が何々舘に於て大演説を催し非常の喝釆を博したりと云ひ、何々の宴會に於て愉快なる談話を爲して滿場の觀呼にあへりなど云ふと新聞紙上に出づるとき吾夫もまたか

くなれかしなど思へることの折々はありしが後には遂に之をしも思はずなり行て泥舟が籌作の用にとて連りに穿鑿する事柄あれば其身もまた之を助けて彼此の書籍など見合せ草稿成れる比は身から之を寫しかへ又は思ふまゝをも妄りに評して之が注意を惹くことあり大抵書齋に机を對して輕々しく外に出でず出づればバ必ず優郎を伴ひて三人にて途もなく夕まぐれの散歩なすにてぞありける

此章に入るべき圖書は既に五十二、四、の兩號中に掲げたり

○エリサベス父を慕ふ事

佛蘭西の人カヅットにエリサベスと云へる女子ありカヅットラポアート氏と仲睦じかりしが氏は共和政治に反對したることありとて刑に處せられたれバ延いてカヅット親子も亦獄につながれぬ此時カヅット年七十二老ひて躰の弱ければエリサベスは晝夜之をいたはりて介抱したるが女のみ罪なければ獄を出よと言はるゝに父を棄てゝ何處にか行んとて尙留りぬ其内暴徒ども囚人を虐殺しカヅットをも暴りに殺さんとするにエリサベスは身を以て父を蔽ひ妾を殺したる後にあらずんバ決して父に斧を下すべからずと云ふ暴徒も之に感じて赦すべしくとて之を助けたれバ死を免れて出るを得たり然るに後復び刑法院に送らるゝときエリサベスを家に留らせんとすれど敢て聽かず父に伴ひて院に出で其の申開の何如に一喜一憂したるが父の辨解全く屈するに至りて顏色土の如く天地に慟哭して父を抱き離たず法官止むことを得ず獄卒數名に命じて之を引出させ漸くにしてカヅットを斬に處したりとぞ

○將軍アルレンの愛娘

イーセンアルレンは亞米利加合衆國の勇將にして革命の時功勳甚だ高く名を内外に知られたる人なり其頃フランス國の文學社會に非宗敎の論盛んにして其餘響アメリカにも傳はり才士人往々基督敎を蔑視して取るに足らずと爲すものありアルレン將軍も其一人にてありけるが妻女ハ堅く信仰を保ち日來其人の宗敎を度外視するを歎き窃かに神に祈り居たり夫婦の間に一人の女あり鍾愛一方ならず世に二つなきものゝ如くありしが此女假初の病漸く重りて枕をも得擧げず甚だ頼み少くなりにけり驍勇無雙のアルレンも此狀態に黯然として枕邊に立ち頻に女の顏をぞ眺めける良ありて女父に對ひて言ひ出でけるは父よ妾の臨終近きにありと覺ゆ今平生父の敎へ給へることを信ずべきや又は母の信じ給ふ宗敎を憑み申すべきやと病の爲めに細りたる虫枯の如き聲の迅雷の如く勇將軍の心膽

に徹し暫し差しうつむきて答もなかりしが終に面なげに答ふるやう御身に母の教へたる所を信じ給へと云へりとかや平常ハともあれ斯る時に至りては宗教の得失既に明かなるべし

● 寄書

○結婚齢の制限を論す　附早婚の弊を矯正するの策

在神田錦町　上林敬次郎　稿

早婚の弊害多き事ハ今更ら言ふ迄もなき事にして讀者諸君の夙とに熟知せらるゝ所なり然れども之を矯正する策如何の問題ハ誠に困難なり啻に困難なるのみならず又甚た重要なる問題にして軽々しく机の上にて議論すへきものに非ざるなり故に余輩の如き書生の到底喙を容るべきものにハあらざれども世の有識學者の主張せらるゝ所にして聊か疑はしきものあるを以てさてこそハ喙を容るゝに至りしなり扨て余輩が疑ひを懷く點ハ他にあらす世の學者が早婚の弊害を矯正せんとて頻りに結婚齢を制限すへしと論せらるゝこと是なり此説ハ屢々余輩の耳にする所にして現時の輿論なり然るに余が此輿論に向て疑を挾む所以のものハ結婚齢の制限を以て早婚の弊を矯正せんとするハ誠に覺束なき事と思へハなり請ふ其理由を陳述せん

抑も早婚とハ年齢未た熟せす獨立の計未た成らさる者が一時の戀情に迷ひ假りの愛憐に惹かれ其の前後の分別をも爲さすして夫婦の交を爲し男女居を同ふするに在りて其弊害あるハ必すしも其婚姻が法に適ひ公けに夫婦となるが故にあらす然るに結婚齢を制限するとも到底此等の行を止めしむることを得ず如何となれハ法律の制限する所ハ唯公けに夫婦となる者の年齢のみにして事實上婚禮を爲す者の年齢にまても干渉することを得へきものにあらされハなり例ハ法律ハ結婚齢を制限して「十八年未満の男及び十六年未満の女は結婚するを得ず」との規則を定めたりとせよされハ法に適ひたる婚姻を爲し公けに夫婦とならんとする者ハ必す此年齢に満たさるを得すさりなから十六年の男と十四年の女との間と雖とも事實上婚姻を爲し夫婦となることを得さるにあらす法律ハ決して此等の者の間に婚姻を爲したれハとて之を禁し之を罰するものにもあらす唯法律ハ其婚姻ハ法に適ハさる故其者にハ夫婦たる資格を與すと云ふに過きすさすれハ法律が如何ほと嚴重なる規則を設けて結婚齢を制限するとも事實上の婚姻を禁するにあらすんハ毫しも早婚の弊を矯正するに足らすさりと

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

て事實上の婚姻を禁する如きハ是れ法律の職分にあらず更し
や法律は事實上の婚姻をも禁するの力ありとするも斯かる禁
制は果して能く行ハるゝを得べき乎且つ青年の男少齡の女に
在ては往々穴隙を鑽り牆を踰ゆる如き擧動を爲すことあり若
し法律の飽くまても早婚の弊を矯正せんとせは勢ひ私通をも
罰せざるを得ざるに至る果して私通をも罰せんか遂にハ男女
室を同ふし居を與にし若しくハ語を交ゆる事を禁ぜざるべか
らずさすれば其結果如何ぞや風俗を匡濟せんと欲したる法律
の却て社會の秩序を紊亂し遂にハ人民を此世より放逐するに
至らん

斯の如く法律ハ到底早婚の弊害を矯正するに足らざるのみな
らず結婚齡を制限することは却て他の弊を増さしむるものな
り如何となれは若干の年齡に達せさる者は公然婚姻するを得
ずとの規則あるか故に秘密の婚姻を盛にし私通の俗を養成す
れバなり而して其結果私生の子を多くし且つ離婚の盛に行は
るゝ等風俗を害するの弊害ハ遙に早婚の弊に超ること萬々な
るへし

（未完）

○乳母の弊害

岩田文吉稿

余は曩に育兒書を著し苟も育兒に關することは悉く網羅せしを
以て乳母の弊害の如き固より詳記せる所あり故に此に述ぶる
所ハ畢竟其一部分の摘要に過ぎざれバ或は一事を反復するの
嫌ハあれども素と此事たる責任者の注意如何によりては差し
當り育兒上の利害に關すると少からざれハ記して貴社に寄す

婦人姙孕すれは其前胸に在る所の乳房次第に膨滿し來る所以
は何人も分身の後嬰兒を養ふ所の乳汁を釀製する爲めなると
を知る然らバ此乳房より出る所の乳汁は特ゞ此小兒の榮養に
供ふる所の乳汁にして他の小兒を養ふ爲めの乳汁にあらさる
と明なり且つ人ハ各々其固有の躰質を異にする者なれは其異
なる躰質より釀製する所の乳汁は又各其性質を異にすべき
は自然の理なり而して又小兒は其母の卵珠一種の妙機に由て
萌芽し其血液を以て培養さるゝと十閲月にして始めて獨生す
べき者にまで成熟して產れ出でたる者なるが故に其性質の母
躰と同一なると勿論なれバ其母親の乳汁は其生兒の躰質に最
も適合し而して異質なる他兒の躰質にハ適合せず之に由て生
母の乳汁は其嬰兒を榮養し發育せしむるに實に無二最良の滋
養品たるも別母の乳汁は反て其躰質を損害すると少からず

此の如く生母の乳汁には云はゞ一種不思議の妙能あるか故に
獨逸國ウヰルヘルム皇后は身萬乘の至尊を以て倘ほ其息子皇

女の爲親しく哺乳の勞を取せられ敢て之を臣下婦女の手に任せさせざりしと然るに世間健全の慈母にして猶ほ且之を措て乳母を傭使するもの尠からざるハ慨歎の至りと謂ふべし今此に一例を掲け益々前說の誣言ならざるを示さんとす余か知所の一婦人嘗て一子を擧ぐ其躰格薄弱なるも其兒ハ此親にして此子ありやと怪み思ふ迄意外に能發育せり或人之を見て思ふ樣彼兒の如此良好の發育を得たるハ其乳汁の良が爲なるべしと乃之を羨み堪ず遂に其母婦を傭聘して我兒を乳養せしめたりしが之ヵ此兒子の榮養發育大に不良の方向に轉じ健育の良果を得んとの希望ハ反て虛弱の基とぞ成たり又初ヵ善良なる乳母に養るゝ所の兒子にして兎角に虛弱多病なる者が其乳を離て後ハ反て健康を得ることあるハ屢實驗する所なり其他乳母に就て憂ふべきハ遺傳病のこと諸種の惡癖のこと等なり共に乳母を撰擇するの際充分吟味すへきなれとも其遺傳病も長く潛伏せる者ハ發見し難きとあり又惡癖も詐欺巧なる者ハ容易に發露せざるとあり

此の如く乳母養育ハ兒子に害ある者なれハ生母に於て不得已の故障例之バ乳汁少きもの、乳頭陷沒して嬰兒の咁む能はざる者及び諸病患若くハ腺病、梅毒、癲癇、癩病等の遺傳素質あるにあらずして瑣細の事由より其兒を別母に托する如きハ善く子を愛する者と云可らず否愛せざるに非ず愛するの道を知ざる耳父母たる者少しく玆に注意し以て慈愛の道を全ふしかの獨乙陛下をして慈愛の名を專にせしむるなからん幸あり

○若菜　（武田松濵評）

鳥居忱稿

霞立つ山の端ハ、松の雪はや消えにけり、

山雪既消野菜可摘○松字冗無呼應以雪乃色等語代之或可篇末松字亦然○作者云古今和歌集春上深山にハ松の雪たにきえなくにみやこはのへの若菜つみけり

率妻よ野に行かむ

行字以出字代之如何

籠をもちてもろともに若菜を摘まむ吾妻よ若菜を摘まむ吾妻よ

疊句有味

野邊の六種の若菜を摘まバ

先擧六種後賦出一種菜名此等之趣吾兒慣手可悦

しばしハ待てよ根芹ハ我のみ澤邊に尋ね

日諸共日我乃

吾妻行かバ玉裳の裾を濡しやすらむ

陶化西洋意想入詩美前後照應妙人神髓敬服々々有

霞たつ山の端ハ、松の雪はや消えにけり、率妻よ、野にゆかむ、若菜を摘まむ、はや行かむ、吾妻よ、

此三句全篇活動

See the Mountains kiss high heaven,
And the Waves clasp one another;
No sister flower would be forgiven
If it is disdain'd its brother:
And the sunlight clasps the earth,
And the moonbeams kiss the sea:
What are all those kissings worth,
If thou kiss not me?

Shelley.

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

●新報

○帝國大學英語會　に於て英語討論ありたる大意の續は如左

(戸澤鼎氏辯論の續)　然るに生理上より論ずる時は男女固より相違する所多し其躰格、容貌、力量等悉く相異るが故に女は到底男と同様の勞働を爲すと能はず又性理の上に就て之を論ずるも女はかの學藝の進歩に必要なりと云はるゝ發明的の才能に乏しきが如し然れば人生の活劇場にたとひ一二の有力なる婦人の出現したるとあればとて之を以て男子と同等の權力を女流に附與し得べしと主張する者あらざるべしと思考す見るべし創世紀以來マダム、デ、スタルの如き人物は果して幾人かある以て女權の事を汎論するには固より其數の甚だ少きことを覺ゆるならん。又統計の上より之を調査するに生長したる男女の數殆んど相同じきが如し之れ豈に女性が到底男子に隨從すべきとを示すものにはあらざるか倘ほ之を道德上に於て考ふるに男女もとより互に利害を異にすべき筈なし既に聖書にも明言せる如く女は實に男の骨男の肉なれば何も特々しく女に政權を與ふるには及ばじ故に今ま細密に此聖書を吟味すれば當今西國の婦人等が行ふ所は基督教の敎ゆる所と反對するもの少からざるを見るなり。此に至りても論者は倘ほ立法官の議席に座を占るの女子あり粗暴なる有髯の兵卒を率ゆべき女將軍ありと想像する乎或は又た婦人が家内の爐邊を去つて下院の投票場に奔り若くはシスロ、リエンジーの辯を蓄へて演壇に登らんとするを喜ばるゝ乎

余は以上に於て歐米の婦人が所有するの特權は素と自然の法則に反きたるものなるを辨じ吾等は決して之を高しとし又之に倣んとす可らざるとを論じたり蓋し婦女子は到底受身の地に立ち沈默優雅にして且つ眞實なるを宜とはすべし最良の婦人とは即ち數多の子を產むの人なりとはナポレオン第一世がマダムデスタルに對へたるの名言なり眞に婦人第一の義務は母となるにあり母と爲つて既に子あらば即ちよく之を敎育して之を兩親と同等の地に達せしむるにあるなり。今ま反對論の紳士諸君は日本婦人の地位倘ほ甚だ低しと云はる其の意は日本婦人未だ自由權を得ずと云はるゝにある乎日本婦人は倘ほ奴隸なりと申さるゝにある乎否な見るべし我等平常妻を呼んで家内と云ひ又た之を女房と呼ぶにあらずや論理の方に於て容るゝものは容りたるものを示すとあり故に此等の語によりて家内に住し女房に住する

の妻は古來一家族中の人々が尊敬したる所の一室を特有したるを見るなり然らば斯る博言學上の調査によるも日本婦人の地位必しも改良論者の云ふが如く低きにあらざるを知るべし但し我同胞姉妹が社會上に對するの地位に倘ほ到らざる所決てなしと云ふにあらず余は確に之あるを信じて更に之を改るを可とするもの也例へば女子教育の如き倘未だ十分ならず之を進るの必要は余も亦固く承知する所なり但だかの歐米婦人と同様なる特權を之に與へんと云ふに至ては決して賛成すべからさるもの也蓋し風俗は國の氣候位置人民の性質經歷等に隨ひて各國皆均しからず然るに今我國にかゝる歐米婦人の風俗を輸入せば日本女子が固有する貞婦の品質は皆全くかの氣儘なる外風の下に滅し去るべし故に反對論の紳士諸君は其意女流の恩人たらんとするにありて實はその破壞者たるを知らざるものなり」とありて之を反駁されぬ

以上四氏の辨論終りて倘ほ雙方の議論盡きざれば此日は直ちに决を執るを止めて次會迄延ばされたると前號に於て既に報じたる如くなり依りて第二回の討論會を開かれたる折の筆記を引續き次號に掲載すべし

○東京婦人矯風會大演說　去五日は兼て諸新聞雜誌上に廣告ありたる婦人矯風會の大演說を催されぬ厚生館内の準備万事に宜きを得て演壇の雙の側に立てたりける生花はさすがに婦人會の取なしとて優に覺へたり斯て午后一時と定りたる開場の時刻には聽衆すでに場に滿ち最早會を開かんとする二時近うなりては滿場席につくべき餘地だもあらず然れば直ちに〆切の札を掲げて門を閉ぢたるが早くも壓入りたる五六十の人々は門より中門に至る間に立わびて自ら身動も得せず中には切符を所持したる方もあれば切りに中門の戸叩きて何故吾等を入れざるやなど罵らるゝ聲の聞ゆれば漸く場内の人々に委賴して僅かに餘地を作りさて中門を開きてかの五六十の人々のみを容れぬ門外まで來りて空しく歸られたるは數知れずとなり。扨も時刻となれば會頭矢島かぢ子會を主りて壇に上り大儀見元一郎氏開會の祈禱を捧げて後ち讚美奏樂あり終りて第一席には松山高吉君（女子百業の基本）と云へるにて演說あり第二席には井深梶之助君（基督教と婦人の地位）第三席には田村直臣君（婦人矯風會員の責任）と云へるにて夫々演說あり兼ては海老名彈正君も亦た演說あるべき定めなりしが急かに事の出來て止められぬ。聽衆は過半女子にして三が二

は女生徒と見受たり又男子の方々も至極沈默して謹聽あり万事都合宜くして事に慣れ給ハぬ婦女方のみの周旋に成れると承りて更に感服せる人も多かりしとあり

○孝女シホ子　同女の傳は前號に掲げたる所なるが其後尙ほ榎本與四郎氏より南總珍より抜萃したりとて左の一節を送られたれバ玆に追錄す

官刻孝義錄に神尾內記殿御地行所夷隅郡上布施村字新宿（へ打越とも云ふ）孝婦へ褒美あり古歌短冊に

よしと見て其一節を難波なるあしかる方へ移さすもかな

○乳母鑑定局　乳母の良否は子供の敎育上に非常の關係あるよし前號の社說にも論辨したるとなるが我邦にては乳母を鑑定して其良否を知るの方備らず唯だ雇人請宿に依賴して之を雇ふに過ぎざれハ今度府下二三の有志者ハ乳母鑑定局なるものを起さんとて去る二日東京府廳へ出願したるよし今其方法を聞くに乳母たらんとを欲する者ハ必らず鑑定局醫師の撿査を請け醫師に於て差問なき者ハ之に六ヶ月間有効の證を渡し雇主ハ其證に依り安心して雇入る事を得るとし又乳母候補者の名簿を同局に備へ置き他の請求に應じて媒介をなす由尤も資本金ハ差向一万圓と定め乳母へ授與する證一枚に付五十錢宛を手數料に徵收し其費用に充る豫定なりと云ふ

○女子敎育法　女子敎育法を設けらるゝ由ハ豫て聞及び居たるが愈々同法を實施するに於てハ是迄私立の女子職業學校其他の女學校ハ孰れも其筋にて實際を取調べ官立に屬せしむべきものハ官立に屬し私立に据置くものと雖ども文部省の監督に屬せしめらるゝ筈にて已に神田錦町の有志共立女子職業學校の如きハ今度一ッ橋通へ移轉し官立に屬したり

○音樂保存學校　文部省にてハ今度佛國の音樂保存學校に倣ひ一の學校を設立するの議起り伊澤編輯局長が主任にて目下取調中なるが愈々設立に決せし上ハ音樂取調掛も合併になるべしとの噂あり

○日本音樂會　同會は愈々本月十七日に鹿鳴館に於て開會する由なるが外國音樂師其の他音樂家も大に演奏に盡力し內外人の新作に係る樂曲も種々あり又紳士貴夫人の唱歌彈筝等もある趣に聞けり

○交際規約　從來我國の交際ハ無用の虛飾多くして反つて誠を欠ぐの憾多ければ此頃之を改んとせるもの多し既に大學に關係ある七十四人の方々は贈答廢止會と云ふを發起し高崎府知事は其知己中に一種の交際規約を設けらる

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

○小石川婦人談話會　は伊澤千代子、木村貞子、小島喜代子、串田茂子、山田千代子、其他の有志の女子が發起となり毎月第二土曜日小石川小日向水道町私立幼稚園に於て開會せられ第一回には外山大學敎授の演說あり爾後毎回大學の文學會より辨士を派出し婦女の敎育に對する演說あるよし

○柳北女學校　淺草向柳原町一丁目にある柳北女學校は生徒追々増加し只今の校舍にては狹隘を覺ゆるより今度增築するとに決したれバ同町六番地ハ殘らす立退を命ぜられ來月一日限り家宅を取毀ちに成るよし

○監督敎會　築地明石町の同會にては今度女子敎育の一科を加へ數十名の女生徒を養成し卒業の上は全國の敎會へ派出せしめ布敎を謀るの見込なりと云ふ

○平島商店及び裁縫女學校　京橋區山下町の婦人洋服裁縫女學校は生徒既に滿員となりたれバ來月早々敎塲を增築あるべき計畫のよし尙同校長平島喜平氏の管理さるゝ平島商店に於ては自今西京西陣の織物を彼地の本店と組合を設けて特別の安價にて賣捌かるゝ旨本號の廣告にあり又店員長谷川仲二郞氏を去九日のベルジック號にて米國へ送り三年間滯在せしめて洋服万般の事の取調を爲させらる由なるが同氏は米國女風の事柄を時々弊社へも報導さるゝ旨申置れたり

○西陣織の女服地　京都西陣織物商人ハ　皇后宮女服改良の思食書に基き今度女服地に適たる綾緞子小紋形ちらし鼠、黑其他各色の織立に着手せしが出來上りの上ハ製造品の見本を宮内省へ差出し貴夫人の需用に充てんと盡力し居る由

○女工練習會　片山常雄氏の發企にて去月十六日より開會したる京橋區山下町の女工練習會ハ申込み人陸續とありて最早百餘名の多きに至り遠きハ宮城、靜岡等の諸縣よりも態々出京するものもある程なりと又同會の敎師ハ外國人二名の外に日本人八名あり

○洋服束髮　愛媛縣廳にては判任官以上の妻娘とも自今洋服を着するとに協議したるよしなるが又過日高木海軍々醫總監が神戸、大坂、京都、名古屋の各地方にて婦人風俗改良の演說をなせしより婦女子の洋裝束髮ハ一層の氣勢を得たる處恰も好今回の　御巡幸に付き親しく　皇后宮陛下の洋服を召させられしを拜し且　同宮陛下より各地方高等官の夫人に洋服地を下し賜はりけれバ夫人方ハ恩賜の服を着して迎送したるより關西地方ハ追々洋服を用ふる者を增殊に名古屋の如きハ藝妓まで着用する者少なからずと云ふ此度の　御巡幸と高木海

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

軍々醫總監の演説ハ實に衣服改良の上に取てハ至大の効力を與へたるものなるべし

○京都婦人會　去月二十六日午後六時半より八代尋常師範學校長、坪井同校教頭、今立中學校長、吉田高等女學校長其他民間の男女十九名ハ京都倶等部に會し京都婦人の風儀を矯正するの目的にて婦人會設立の事を議せり當夜議決したる分ハ名稱を京都婦人會と稱すると。婦人會ハ教育ある婦女をして衛生、育兒、家政、交際等の事を聽聞せしむると。當夜會合せし廿三名を發起人と定むる事。發起人中より五名の世話方を撰定するど等にて即時五名の世話方を指名撰定し去る五日の土曜日を期し再び集會して其細目を議する事に决し各自退散せりと云ふ且つ此學に付てハ北垣府知事、財部警部長等にも頗ぶる賛成の趣きなりと去二日發の京都通信に見ゆ

○衣服改良會　京都にては今度又婦人衣服改良會あるものを起さんと目下盡力中のよし其發企人は北垣府知事其他紳士の夫人等にて三條公爵夫人、伊藤伯爵夫人は賛成員となられる

○婦人教育改良懇親會　大坂大手通二丁目弘道會より發兌する弘道叢録の編輯員山田淳子氏の主唱にて題號の如き會を起さんと目下計畫中の由

○婦人學習會の開會式　大坂婦人學習會ハ去る二日開會式を行ひしが來會者ハ高島鎭臺司令長官、建野府知事、兒島控訴院長、遠藤書記官等各顯官、藤田傳三郎等各豪商の婦人及び外國夫人十名其他五六十名の婦人にて會長十時三郎、委員天野皎の兩氏ハ不在中にて出席なかりしゆゑ幹事英人エトマンス氏代つて會頭となり第三高等中學校御雇教師米人ダードリッチ氏ハ本間重慶氏の通辨にて婦人會勸奬の演説をなし午後四時退散せり同會ハ去る七日迄に主任會員の協議にて會員を四組に分ち教授する由にて同日午前九時より集會し教員ハ當分義務にて更る〳〵出勤し來る九月迄にハ英國より二名の女教師を聘する都合ありと去四日同地より通信

○常磐木裁縫女學校　大坂北區此花町二丁目の同學校ハ教場手狹に付き今度同岩井町二丁目へ移轉し去る三日其移轉式を執行せしよし去る五日の浪華新聞に見ゆ

○麥藁編み　紀州海部郡雜賀崎浦の婦人ハ先頃より漁業の傍ら麥藁編みを爲し居たるが近時ハ追々精巧となり日々の編上り全浦にて殆んど延長三四百間に及ぶと云ふ

○三池婦人協會　長崎縣三池にてハ今度題號の如き會を設けしに忽ち會員四十餘名に増加し尚續々加盟するの模樣なりと

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

○仙臺の英學流行　仙臺にては此頃非常に英學流行し同地の女子にて是迄裁縫或ひは月琴を習ひしものも俄かに其稽古を止め東二番町の女學校へ入學するもの多きにより同校にては中々繁忙なりと又同校の女教師は松操學校へも往來して教授さるゝ由其他中島町のジヨンス夫人及び同居の米人の教授せる女生徒も非常に增加する等實に英學流行の盛んなるは驚くべし云々と同地よりの通信

○高知高等女學校　高知縣にては過日通常縣會にて高等女學校を設置せんとの議を決し之を田邊縣知事に建議せしが同建議書は右建議に對する知事の意見書と共に此程文部省へ差出されたる由に聞く

○女生徒入學　石川縣に於ては舊石川縣師範學校附屬女學校高等科卒業生にして同縣尋常師範學校訓導心得の者二名を東京共立職業學校へ入學せしめたり（本年三月七日官報）

○千葉婦人懇親會　同地に於て題號の如き會を設け高尚にして優美なる遊戯をなし尚智識を交換さるゝ目的を以て去る六日師範學校女子部の教員及び高梨みつ子など其他十五六名の婦人が集會して相談會を開らかれしよし

○女學校設立の計畫　札幌師範學校の女教師米人スミス子は近日同地へ女學校を開設せんと目下計畫中の由同地は女學校のなき處ゆゑ人民は一日も早く開校に至らんとを望み居るとのこと

○久留米婦人協會　筑後久留米にては今度婦人協會を組織せんとの計畫ありて去る六日其組織評議會を開きたりといふ

○養蠶法を教科中に加へんとす　紀州田邊郡は近年養蠶の業日を逐ふて盛んなるに付き同郡田邊小學校にては養蠶を以て婦人に適當なりとし今度通常教科の外裁縫生徒に養蠶法を習はしめんと目下計畫中なりと云ふ

○小倉婦人協會　今度文部大臣小倉に到着の當夜福岡婦人協會の規則を持出し同地に設置の事を四田鹽田大森半田植前の諸氏其の他學校教員有志者中若干名の發企者ありて津田企救郡長武田學務屬の同席にて右諸氏より色々相談あり郡長並に武田屬より答ふる所ありて兎も角規則を起草して然る後會員募集の順序に極まり右起稿委員を島田氏以下の諸氏に津田郡長より委任あり今專ら編製中にて一兩日中出來上る由尤も委員諸氏は非常の熱心にて發企の當夜後二日中に五十名の會員を得たる由にて本月十一日には創設會を開く順序に至るべしと云ふと三月四日福岡日々新聞に見ゆ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

廣告

●通信女學規則

當今女子教育の説甚だ隆盛となりて各地の女學校は日に日に其數を加へ茲に就て學文する女子も亦た月々に多くなれり此模樣にてハ今四五年の内には女學の進歩非常にてをさく〳〵男子に劣らざる有爲の女流を多く出さんは勿論婦人一汎の有樣も必ず一變して今の如き交際にては事足らざるに至るべし故に今日に於て尚ほ學文せざる貴孃方は一日も早く學校に入りて一と通りの修學を爲し決して時勢に後れざる樣に勉めらるべし之れ甚だ大切の事なり然るに既に一家の妻となりて家事向万端を取扱ハるゝ方々は固より學校へ通はるべき餘暇もなく又ゆる〳〵と讀書さるべき便利も少かるべければ此樣の人々が別に學文さるゝ方法なかるべからず抑も一家を修るには家内衛生、家内經濟の事を初として母親たるの覺悟、育兒の心得などは是非とも學び置かでハ相成らず特に世追々開化して交際の有樣も變化する今日に當りてハ文學理學の一斑より歴史地理の大畧及び西洋女禮式の一と通りを承知せざれバ大なる辱を受ることあらん故に此度かゝる妻君母親たちの都合を計りて通信女學と申す仕組を設け家内に居ながら少々づゝの餘暇を覩みて學文さるゝやうの法方を備へ凡そ一年にて女學の荒増を覺へ二年にて其大畧を學び三年にて恥かしからぬ程の學力を得さするやう教授すべし

一 月々中本六十頁以上の講義錄一冊を出版する事

二 右講義錄には女子生理、家内衛生、家内經濟、万國史畧、文學一斑、理學一斑、西洋女禮等の諸科を講述し且つ問答叢話の一欄を置きて右講述の上に付き質疑を寄せたる人々に應答し又婦女學文の心得其外諸般の有益なる事件をも書載すべし。尤も右諸科講述の終るを待ち漸次に尚ほ更に高尚なる學課を教授すべき事

三 右講義錄は平假名交りの平易なる文章にて記るし尚ほ假名を振るべきに付何人にも容易く讀み得らるべし且つ了解しがたき事件ある時郵券二錢を封入して質問を寄するときは早速に應答し尚ほ其問答の人に示して益ある分は講義錄中の問答叢話の欄内に記載する事

四 右講義錄一冊の定價を二十錢とし全國何の地にも郵税を要せず配達すべし而して半年分の前金は壹圓一年分の前金は二圓とすれ共其以下の小賣は悉く定價を要し尚ほ一冊にても前金を領收せざる内は配達せざる事

五 右講義錄第一卷四月九日に出版すべし有志の人々は速に御申込ありて隨意の前金拂込ありたき事

東京日吉町八番地

女學雜誌社

京都西陣織物安賣廣告

一 貴婦人洋服地數品幷ニ裁縫
一 模樣織廣巾帶地類數品
一 御召縮緬類數品

右各種從前高價ナルハ數多ノ手ヲ經ニ因テ自然非常ノ高價ニ相成誠ニ遺憾ナリ因テ織元ニ一ノ組合ヲ設ケ今回爰ニ支店ヲ設ケ織元直段ニテ販賣致候間御愛顧ヲ以テ陸續御注文書被仰付度奉企望候敬白

但卸賣ハ割引仕候〇御好品御約束日限ニ調進仕候

明治二十年三月一日開業

東京々橋區尾張町二丁目壹番地

(ソ)組 會和嘉兵衛支店

本店 西京上京區第八組北ノ御門町七番戸

組合店 平島商店 京橋區山下町十一番地

東京女子專門學校 小石川諏訪町三十一番地

女 男ト同等先生旦那主人ト成リ一家一業修ムル高等專門學及英獨漢數普通學科教授ス無東脩ニテ寄宿生通學生トモ

本月中ニ申込アレ規則本校ニ有リ年齡ハ十歳ヨリ六十歳マテ

去五日大演説會の節は來會の方々意外に多く不得止入場を謝絶致候に付空しく御歸散相成候仁數多有之樣見受申候此中には切符御持參の方も可有之甚申譯なき儀にて重々恐縮の至に候依て茲に謹謝し海容を祈候

東京婦人矯風會書記

●義捐募集廣告

千葉縣上總國夷隅郡上布施村竹永志ほ女は寶暦年代の人なりしか孝養殊勝の餘り時の領主御尾氏より恩賜等ありしは房總志料南總珍官版孝子傳の三書に詳かなり生等如斯孝子の湮滅せんとを恐れて爰に其擧を勸して萬世に傳へんと欲す江湖の君子義捐を吝む勿れ

明治廿年二月　千葉縣上總國夷隅郡上布施村貳百廿八番地平民
榎本與六郎
仝村百七十二番地平民
井上佐義夫

○右取次場所　東京日吉町八番地　女學雜誌社

○京都看病婦學校は内外慈善有志家の寄附を得て此度愈々設立する運びに至り候へ共未だ十分の資力なきより猶ほ諸方慈善有志家の寄附に預り度趣附ては右學校へ寄附被致度御方は弊社に於て御取次可申上候間此段此に廣告す

四方有志諸君御中

女學雜誌社

華族女學校學監下田歌子編輯
和文教科書
第一輯　五十錢
第二輯　五十錢
●第三輯五六の卷新版正價　五十錢也
東京神田猿樂町三丁目一番地
中央堂

正六位矢野義徹先生閱　富松郁三郎先生著
○通俗飲酒効害論　全一册平假名文
正價拾六錢郵税四錢
本書ハ日本酒西洋酒等四拾餘種ニ就テ各其効害ヲ簡明ニ論シタル養生書ニシテ飲酒家及節酒禁酒會員ハ勿論諸人必讀ノ書也
發兌書林
東京馬喰町二丁目　島村利助
今日本橋通三丁目　丸屋善七

無謝儀詩文歌添削
但返稿郵税丈は御送附有之度候
且又多少に關らず謝儀御送被下候分は特別丁寧精密に添削可致御名作は悉く本社發行の弘城新誌に掲載可仕候也
陸奥弘前代官町七十一番地
弘城隂社

本會に於て全國束髮の景况取調度候間乍御手數各府縣公私立學校女教員女生徒を始め其他の婦人にして束髮を實行せらるゝ方々の景况并成的姓名員數をも並せて御惠報被下度伏て奉懇願候也
但し郵便先拂は御斷申上候
女學雜誌社内
婦人束髮會
或ハ赤坂區青山北町四丁目百一番地
和崎義路
各府縣有志諸君

發兌

三月。五日	十二日	十九日	廿六日
四月。二日	九日	十六日	廿三日	三十日
五月。七日	十四日	廿一日	廿八日
六月。四日	十一日	十八日	廿五日

定價

一册。五錢　郵税。一錢（但府内無郵税）
十册。四十八錢郵税。十錢（同前）
半年分　一圓十七錢　府外は　一圓四十三錢
一年分　二圓卅四錢　府外は　二圓八十六錢

廣告

一行一回　前金拾錢（廿七字詰）
同　三回以上　一割引
同　六回以上　二割引
十行以上一割引。二十行以上二割引。四十行以上三割引。但し不道徳なる事物の廣告は謝絶す有益なる事物の廣告は社議の上無代價にて引受く女學關係の書籍は一部の寄送を乞ひ相當の廣告をなし且つ本誌に批評すべし

特別廣告は婦女に關する協會會合等の記錄を掲ぐるものにて一切無料とす但し紙面半頁分の廣告を要する每に右雜誌十部の注文を發し以上半頁分每に十部増の割合と定む

WOMEN'S MAGAZINE.
"JOGAKU ZASSHI."
Price 5 *sen*. By post *yen* 1.43 six months, *yen* 2.86 per annum, in advance.
Edited and published by Y. H. Iwamoto, at The Jogaku-Zasshi Office, No. 8B Hiyoshichô, Shinbashi, Tôkyô.

女學雜誌賣捌所

本號は餘白なきに付右賣捌所の所名錄を除く

發行所
本局　東京京橋區日吉町八番地
女學雜誌社
持主兼編輯　巖本善治
印刷　森田豐

本書ハ日本酒西洋酒等四拾餘種ニ就テ各其効害ヲ節明ニ論シタル養生書ニソ飲酒家及節酒禁酒會員ハ勿論諸人必讀ノ書也

發兌書林
東京馬喰町二丁目 島村利助
仝日本橋通三丁目 丸屋善七

無謝儀詩文歌添削
但返稿郵税丈は御送附有之度候
且又多少に關らず謝儀御送被下候分は特別丁寧精密に添削可致御名作は悉く本社發行の弘城新誌に掲載可仕候也
陸奥弘前代官町七十一番地
弘城唫社

一 批評すべし

女學雜誌賣捌所

本號は餘白なきに付右賣捌所の所名錄を除く

發行所
本局 東京京橋區日吉町八番地
女學雜誌社
持主兼編輯 巖本善治
印刷 森田豐

驛遞局認可

●義捐募集廣告

千葉縣上總國夷隅郡上布施村竹永志ほ女は寶曆年代の人なりしか孝養殊勝の餘り特の領主伊尾氏より恩賜等ありしは房總志料南總珍宦版孝子傳の三書に詳かなり生等如斯孝子の湮滅せんとを恐れて爰に其擧を勸して萬世に傳へんと欲す江湖の君子義捐を吝む勿れ

明治廿年二月　千葉縣上總國夷隅郡上布施村貳百廿八番地平民

仝村百七十二番地平民

頭本與六郎

井上佐義夫

○右取次場所　東京日吉町八番地　女學雜誌社

○京都看病婦學校は内外慈善有志家の寄附を得て此度愈々設立する運びに至り候へ共未だ十分の資力なきより猶ほ諸方慈善有志家の寄附に右學校へ寄附被致度御方は弊社に於て御取次可申預り度趣附ては此段此に廣告す

上候間

四方有志諸君御中

女學雜誌社

華族女學校學監下田歌子編輯

和文教科書

第一輯　五十錢

第二輯　五十錢

●第三輯五六の卷新版正價　九十錢也

東京神田猿樂町三丁目一番地

中央堂

正六位矢野義徹先生閲　富松郁三郎先生著

○通俗飲酒効害論

全一册平假名文

正價拾六錢郵稅四錢

本書ハ日本酒西洋酒等四拾餘種ニ就テ各其効害ヲ簡明ニ論シタル養生書ニシテ飲酒家及節酒禁酒會員ハ勿論諸人必讀ノ書也

發兌書林　東京馬喰町二丁目　島村利助

仝日本橋通三丁目　丸屋善七

●無謝儀詩文歌添削

但返稿郵稅丈は御送附有之度候

且又多少に關らず謝儀御送被下候分は特別丁寧精密に添削可致御名作は悉く本社發行の弘城新誌に掲載可仕候也

陸奥弘前代官町七十一番地

弘城除社

發兌

三月。	五日	十二日	十九日	廿六日
四月。	二日	九日	十六日	廿三日　三十日
五月。	七日	十四日	廿一日	廿八日
六月。	四日	十一日	十八日	廿五日

定價

一册。五錢　郵稅。一錢（但府內無郵稅）

十册。四十八錢郵稅。十錢（同前）

半年分　一圓十七錢　府外は　一圓四十三錢

一年分　二圓卅四錢　府外は　二圓八十六錢

特別廣告は婦女に關する協會會合等の記錄を掲ぐるものにて一切無料とす但し紙面半頁分の廣告を寄する每に右雜誌十部の注文を要し以上半頁分每に十部增の割合と定む

廣告

一行（廿七字詰）

一回　前金拾錢

同　三回以上　一割引

同　六回以上　二割引

十行以上一割引。二十行以上二割引。四十行以上三割引。但し不道德なる事物の廣告は謝絕す有益なる事物の廣告は社議の上無代價にて引受く女學關係の書籍は一部の寄送を乞ひ相當の廣告をなし且つ本誌に批評すべし

WOMEN'S MAGAZINE.

"JOGAKU ZASSHI."

Price 5 *sen*. By post *yen* 1.43 six months, *yen* 2.86 per annum, in advance.

Edited and published by Y. H. Iwamoto, at The Jogaku-Zasshi Office, No. 8B HIYOSHICHŌ, SHINBASHI, Tôkyô.

本會に於て全國束髮の景況取調度候間乍御手數各府縣公私立學校女教員女生徒を始め其他の婦人にして束髮を實行せらるゝ方々の景況可成的姓名員數をも並せて御惠報被下度伏て奉懇願候也

但し郵便先拂は御斷申上候

女學雜誌社內

或ハ赤坂區青山北町四丁目百一番地

婦人束髮會

各府縣有志諸君

和崎義路

女學雜誌賣捌所

本號は餘白なきに付右賣捌所の所名錄を除く

發行所　本局　東京京橋區日吉町八番地　女學雜誌社

持主兼編輯　巖本善治

印刷　森田豐